

# 新宿御苑

所在地：〒160-0041 東京都新宿区内藤町 11

TEL：03-3350-0151

URL：<http://www.env.go.jp/garden/shinjukugyoen/>

開園時間：9:00-16:00（閉園 16:30）、温室（9:30-15:30、閉館 16:00）

休園日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12/29-1/3）

植物園概要：新宿御苑は明治 39 年に完成した皇室庭園で、明治を代表する近代西洋庭園です。古くから受け継がれている桜や菊、ランなどを楽しめます。

植物保全活動：生息域外保全としての種子保存や、絶滅危惧種展の開催などの活動を行っています。



## 新宿御苑における植物多様性保全の取り組み

### ■種子保存

新宿御苑は日本植物園協会の種子保存拠点園となっており、日本植物園協会の拠点園活動等で採取した種子を冷凍施設で保存する役割を担っています。

生育地で採取された種子は乾燥器で十分に乾燥させ、-20℃の冷凍庫で保存しています。保存した種子の一部は、発芽能力をみる試験を行い、発芽特性の把握に努めています。



種子の保存作業

また、新宿御苑では、種子の保存だけでなく関東拠点園活動として、種子採取調査に参加したり、環境省の事業として種子採取調査を委託で行ったりもしています。



関東拠点園活動による種子採取調査

全国の植物園の協力により、平成 24 年 3 月末現在で、218 種（重複を除く）の自生地の由来を持つ絶滅危惧植物の種子を保存しています。今後も日本植物園協会が定めた植物多様性保全 2020 年目標に向けて種子保存拠点園として活動していきます。

## ■温室での絶滅危惧植物の栽培・展示

新宿御苑では、大温室及び栽培温室で絶滅危惧種約 140 種、国内稀少野生動植物種 11 種を含む約 2,700 種の植物を栽培しています。

平成 24 年 11 月にリニューアルオープンした大温室では、熱帯・亜熱帯の植物を中心に展示していますが、絶滅危惧植物の啓発にも力を入れており、常設で沖縄・小笠原の植物コーナーを設け、アマミヒイラギモチやムニンノボタンなど、固有種を含む絶滅危惧植物の展示・解説を行っています。また、大温室内の特別室では、これらの絶滅危惧種や、ワシントン条約で取引が規制されているパフィオペディルムの原種などを鉢植えで栽培している様子をガラス越しに利用者に見せる展示も行っています。



セロジネ ‘メモリアオカミ’

栽培冷温室では、夏期の生育状況を改善するための冷房を備えており、高山植物や沢沿いに生育する植物など暑さをきらう絶滅危惧植物を栽培しています。また、昆虫による交雑が生じるので

侵入防止ネットなどを設置して遺伝子の攪乱防止も行っています。この栽培冷温室では、熊本県阿蘇地方にしか生育していない固有種の花シノブについて遺伝子情報を保持する系統保存を行っているほか、レッドリストに掲載されている高山植物等の栽培を行っております。



ハナシノブ

新宿御苑では、例年実施している絶滅危惧種展を通じてこれらの取り組みの普及啓発にも努めていきたいと考えています。

(木村 元、2013 年 1 月)